

会議録

会議の名称	令和7年度 第3回地域医療支援病院運営委員会
開催日時	令和7年11月12日(水) 14時から
開催場所	市立ひらかた病院 講堂
出席者	枚方市医師会会長 渡邊一男委員長、枚方市歯科医師会会長 長谷晋吾副委員長、 交野市医師会会長 小菓裕成委員、寝屋川市医師会会長 香川英生委員、 枚方市薬剤師会会長 上羽敏明委員、摂南大学教授 坂根貞樹委員、 枚方寝屋川消防組合 消防本部警防部長 高橋利昌委員、 枚方市保健所長 白井千香委員(代理:枚方市保健所 橋本美弥子副所長) 出席8名
欠席者	訪問看護ステーションみらい管理者 岩出るり子委員、 枚方市健康福祉部長 上田伸一委員
案件名	<p>案件(1) 当院の状況報告について 事務局から資料を基に説明した。 紹介率は令和7年4月から9月の平均で72.6%。昨年度と比較して各月とも約5%高い率で推移している。逆紹介率は令和7年4月から9月の平均で83.2%。院内医師に向けた逆紹介の取組み喚起の通知による効果と思われる。紹介率、逆紹介率ともに地域医療支援病院の承認要件を満たしている。 令和7年4月から9月の救急依頼件数は2,748件、応需件数は2,465件、応需率は89.7%。4月の応需率を除き救急応需件数、応需率ともに昨年度を上回っている。 当院に連携医療機関として登録されている医療機関件数は10月末時点で379件。 事務局から令和7年度地域医療支援病院業務報告(令和6年度実績)について、資料に基づき説明した。</p> <p>案件(2) 当院の取り組みのご紹介について 事務局から経営強化プラン中間見直し版(素案)等について資料に基づき説明した。</p> <p>案件(3) 今後の予定について 事務局から予定している講座について資料に基づき説明した。</p> <p>案件(4) その他 事務局から広報誌かわせみ秋号について資料に基づき説明した。</p>
提出された資料等の名称	<p>資料1 令和7年度紹介率・逆紹介率</p> <p>資料2 令和7年度救急依頼件数・応需件数・入院件数・応需率</p> <p>資料3 地域別登録医療機関件数</p> <p>資料4 令和7年度地域医療支援病院業務報告(令和6年度実績)</p> <p>資料5 経営強化プラン中間見直し版(素案)</p> <p>資料6 第38回市民公開講座アンケート集計結果・ちらし</p> <p>資料7 第39回市民公開講座ちらし</p> <p>資料8 かわせみ秋号</p> <p>資料9 令和8年度市立ひらかた病院 地域医療支援病院運営委員会開催日時(案)</p>

決定事項	次回開催日時：令和8年2月18日 午後2時
主な意見	<p>案件(2) 当院の取り組みのご紹介について</p> <p>渡邊委員長 令和6年度は8億9,000万円の赤字ということだが、診療報酬返還の約3億円は含まれているか。</p> <p>今市事務局長 診療報酬返還分は別計上である。</p> <p>渡邊委員長 病棟休棟により収入が減ったということだが、6階西病棟の開棟で赤字はどの程度改善できそうか。</p> <p>山本事務局参事 月5,000万～7,000万円の収益増、年間で約5～6億円の赤字圧縮が見込まれる。ただし、入院患者数が同水準の場合である。</p> <p>渡邊委員長 6階西病棟の開棟に期待している。</p> <p>長谷副委員長 改善案のうち、今すぐできそうなものは何か。</p> <p>今市事務局長 逆紹介の推進や救急医師の意識徹底、外来診療や手術件数の見直し、長期入院の調整に取り組んでいる。時間がかかるものもあり、収支を見直しつつ検討していきたい。</p> <p>長谷副委員長 DXにかかる費用はどの程度か。</p> <p>辻事務局次長 電子処方箋の整備は進めているが、厚労省によると電子処方箋管理サービスの導入は来年度以降にずれ込みそう。補助金は限定的であり、医療DX推進体制整備加算の額も不十分。負担が大きい。</p> <p>渡邊委員長 医師、看護師は十分に働いているにも関わらずこれほどの赤字。やはり公立病院の経営は厳しいものだと感じる。</p> <p>林病院長 救急常勤医の不在を各診療科の医師が分担してカバーしており、応需率は90%の目標達成に近づいている。負担は大きいですが、医師全体のプライマリーケア・救急対応能力の向上を目指している。専門性にこだわらず各科で救急患者を受け入れられる病院体制を構築していく。</p>
所管部署 (事務局)	医療相談・連携室